

2023.7.22-25

MIYAKEJIMA MARIN CAMP2023



「さあ、今日から夏休み！」と同時にスタートしたスポーツ探検隊サマーキャンプ第1弾。

7/22～25、東京都三宅島にて「三宅島マリンスポーツキャンプ」を開催。

小学生32名、見習いリーダー含む9名リーダーの総勢41名での大冒険が夏休みと同時にスタートしました。

東京都浜松町駅の近くにある「竹芝フェリーターミナル」を出発し船で約6時間半。東京から南へ約180kmの位置にある三宅島。

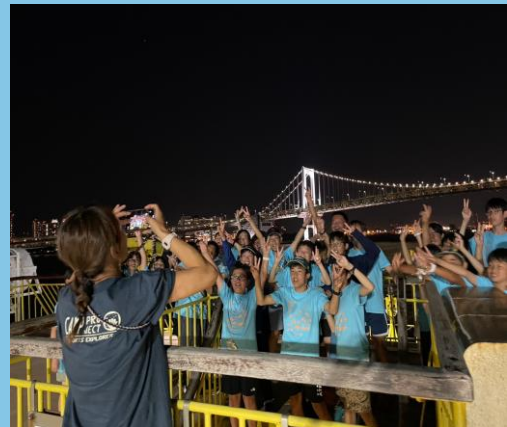
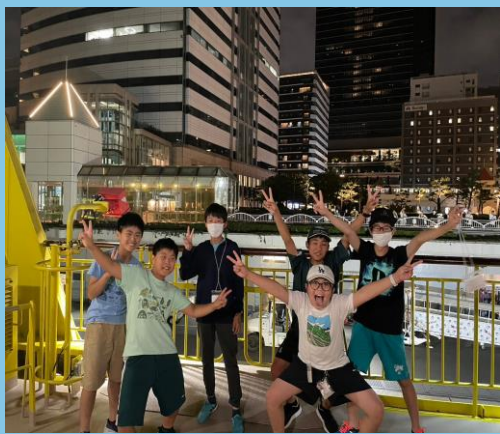
海に囲まれた直径約8kmのまあるい形をした三宅島。島の大きさは、山手線の内側とほぼ同じ大きさです。黒潮が直接あたる三宅島の海域は魚の宝庫！！そんな三宅島で行うのは、海遊びやシュノーケリング、ドルフィンツアーなどのマリン活動。他にも、釣り体験や夜には辺り一面に広がる星空を眺めて流れ星を見つけてみたり…。最終日にはみんなで花火も！！

三宅島に住んでいる島民のみなさんにたくさん支えていただき、夏に楽しめるイベントを詰め込んだ4日間。

東京から船にのって、海の向こう側でお父さんお母さんと離れ、初めて出会う友達と過ごす中で、色々な気づきや学びがあったと思います。今回のキャンプを楽しいものにするんだ！と子ども達1人1人が自分のためだけではなく、仲間を思いやって行動できた4日間だったと思います。ありったけの感謝の気持ちを持って、三宅島の豊かな自然、人のあたたかさ、仲間と素敵に思い出が共有できたこと、三宅島で得たこの素晴らしい経験を、心の宝箱にしまっておくだけでなく、たくさんの人に伝えて、「三宅島ってこんなに素晴らしい場所なんだよ！」って伝えていってほしいな！！

01

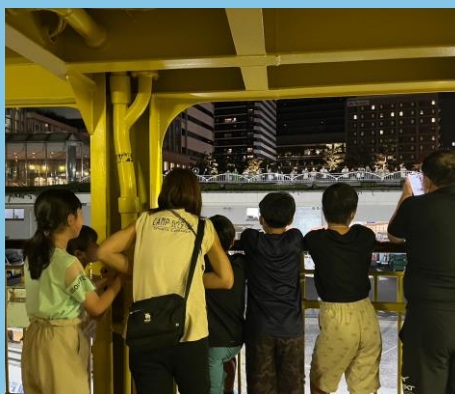
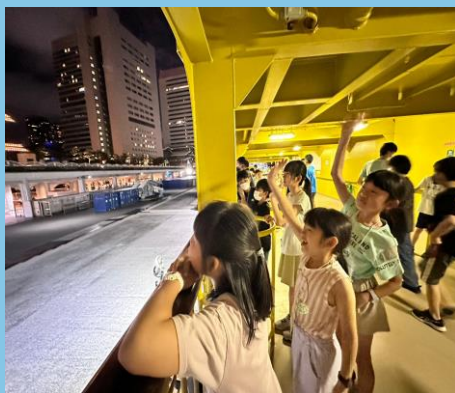
Next one. SUMMER CAMP





21時30分。東京都浜松町「竹芝フェリーターミナル」に集合。こども達はもちろん、リーダーも少し緊張した面持ちでスタートした出発式。

今回の三宅島キャンプには、つくばや水戸など茨城県からはもちろん、埼玉県やなんと宮崎県からも各地から浜松町へ集結！初めて出会う子もたくさんいる中、これから向かうのは、東京から船に乗って、約6時間半の距離にある三宅島！簡単には帰ってこれない場所への冒険は緊張もありますが、それ以上のドキドキとワクワクに胸を躍らせながら、22時30分。黄色の大きなお船、橘丸が定刻通りに出発しました。船の出港後は、昨年の三宅島キャンプ参加経験のある隊員たちが率先して、就寝準備を進めてくれました。明日めいっぱい三宅島の海で遊ぶためにも、消灯後もお部屋で静かに過ごし、おやすみなさい…。



朝の5時…朝焼けがキレイな港に到着！

三宅島には、着岸する港が3つあり、その日の風や潮の流れで到着する港が変わります。

今日の停泊場所は錆が浜港。宿泊場所のたいようが一番近い港です。港から早速宿泊場所の“こたじ”へ。

貸切こたじからの眺めは最高!!ですが、まずは少し休憩。朝ごはんを食べて、少し自由時間。休憩がてら、男女各お部屋でのんびり過ごしました。



午前中は、錆が浜ビーチで浜遊び！！この日は水温が30度もあり、絶好の海遊び日和♪波に打たれたり、ビーチコーミングを楽しんだり、人を石に埋めて天然の岩盤浴を試みたり…(笑)みんな思い思いに海遊びを楽しみました。



海を眺めながらおひるごはんを食べた後は、伊ヶ谷港に移動して、シュノーケリング講習！！伊ヶ谷港は、三宅島唯一の砂浜ビーチ。錆が浜とはまた違った雰囲気の中、次の日の控えたドルフィンスイムに向けて、マスククリアやフィンワーク、ボートからエントリーができるよう桟橋から飛び込む練習を行いました。ドルフィンスイムに行かないチームも、足のつかない場所での遊泳が初めての子もいる中、「できるだけ遠くまで泳いで行ってみたい！」とシュノーケリングを思いっきり楽しみました。

夜ご飯は、三宅島に住む元シェフの曾我部さんが作ってくれた鍋いっぱいのカレーに、ゆりさんが差し入れしてくれたシイラの唐揚げ！三宅島の皆さんの愛情たっぷりのごはんでした。夜の天体観測では、満天の星が見れました。流れ星が見れた子も！夜空いっぱいに広がる星空は本当に素晴らしい景色でしたね。





3日目は、それぞれ班ごとでの活動となりました。

一番早いチームは、朝の5時45分に起床。昨日の夜確認した行程をきちんと覚えていて、ドルフィンスイムに向けて、着々と準備を進め、大人のチカラなんて借りずに、みんな出発時には、準備万端！な状況。素晴らしい…！！

6:50に出発し、今までにないくらい海のコンディションが良い！と言われる中、イルカに会うぞーと気合いを入れて出発。

残りのチームは「釣り」に挑戦！三宅島は黒潮の恩恵を受けて通年釣りを楽しめることも魅力の1つです。こちらも海のコンディションは最高！透明度が高く、陸から魚が泳いでいる姿がよく見える！！泳いでる魚めがけて竿を落とすと…HIT！！なんと8匹も釣ることができました。

午後には、第2便のチームがドルフィンスイムに出発。残りのチームは、みんなからのリクエストもあり、釣りチームと海遊びチームに分かれて活動！！

集中力をきらさずにずっと海で遊びつづける子どもたちの様子が錆が浜にいるライフセーバーさんもびっくりしていました。笑

夜ご飯には、ゆりさんがカツオとムロアジのお刺身を差し入れにもってきてくださって、、新鮮で甘くて、ムロアジはぶりっぷりの歯ごたえ！！とても贅沢な夕ご飯になりました！

夜には花火も楽しみました。青に緑にピンクに…花火がいろんな色にキラキラ光りとってもきれいでしたね。三宅島を思いっきり堪能した3日目の活動になりましたね。



三宅島から船で40分。

野生のイルカが住む御蔵島に移動して、島の周りを回遊するイルカにご挨拶。今日の海のコンディションは、絶好調！風もなく、快晴。こんなにも凪いていて、こんなコンディションは年に1〜2回あるかないかだそう。

野生のイルカだからこそ、出会えるかどうかはその日の運次第。

そんな中、ドキドキで出航しましたが、午前便・午後便ともに無事イルカを間近で見ることができました！海の中を群れでのびのびと遊々と泳ぐ姿は神秘的で感動的でした。本当に貴重な経験になりました。







あーっという間に最終日。朝ごはんを食べて、まず行ったのは、宿泊場所の「たいよう」のお掃除。来た時よりもキレイには鉄則！！

持ってきた荷物の荷詰めがある中、みんなで協力して、順調にお掃除が完了。

お片付け・掃除をして、三宅島GE0探検に出発！三宅島は、富士火山帯に含まれる活火山であり、一番最近では2000年の雄山山頂の噴火と、過去3回、約20年周期で噴火を繰り返しています。今回は、1983年に噴火した際の溶岩流の上に完成した「火山体験遊歩道」を探検。高さ100m以上に吹き出た溶岩は、阿古地区の一部を飲み込みましたが、幸いにも人的な被害はなかったそう。溶岩流に小学校が埋もれている姿を見たり、あたり一面を埋め尽くす真っ黒い溶岩とその隙間から見える緑の葉っぱ。噴火のスゴさを体感することができる貴重な景色でしたね。

三宅島GE0探検のあとは、お土産を買って、おひるごはん。橘丸の就航が遅れることもあり、希望者は最後にもう一度錆が浜ビーチへ行き、波を音を聞いたり、ビーチコーミングをしたり、最後の瞬間まで三宅島を堪能しました。





三宅島で過ごす日々はあっという間でしたね。たくさんお世話になった、ゆりさんに見送られながらついに出港です。竹芝まで、約7時間。船の中では隊員誰一人寝ることもなく、船での時間を思い思い楽しみました。長いと思っていた船での時間もあっという間。レインボーブリッジの下を通り、みんなで記念撮影★をしたら、あっという間に竹芝に到着。最初で最後の、“この”41人で作った三宅島キャンプ。みんなと過ごした4日間は、夢のように宝物のような4日間でしたね。リーダーにとっては、最高の4日間でした。それは三宅島のみなさんの温かい協力はもちろん、隊員1人1人が自分のためだけではなく、仲間のことを思いやり、協力して、行動できていたから。

三宅島で過ごす日々はあっという間でしたね。日に日にたくましく、頼もしく、成長する姿は本当にステキでした。みんなにとってはどんな4日間になったかな？またぜひ一緒にキャンプに行って、素敵な思い出を作ろうね。これで、三宅島マリンスポーツキャンプ2023を終了します。敬礼 ！！